



からし種

冬
第 84 号

今号の主なラインナップ

- ◇ P.2-3 聖書協会世界連盟フェローシップ報告
- ◇ P.4-5 海外聖書製作支援報告
- ◇ P.6 教会訪問の報告と協力依頼
- ◇ P.6 日本における聖書普及事業開始 150 周年感謝
- ◇ P.7 後援会ニュース（決算報告）
- ◇ P.8 クリスマス特別プレゼントクイズ



飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子

—ルカによる福音書 2:12（新共同訳）—

飼い葉桶餌と成りしか神の御子

カトリック大阪高松大司教区大司教

前田万葉枢機卿

ルカ福音書第2章12節に、「あなたがたは、布にくるまって飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである」と記されています。

イエスは神の子でありながら、へりくだって人間として生まれ、動物の餌桶に寝かされました。この象徴的な出来事は、御自分が人間を生かすパンとなり、人間と共に苦しみや喜びを分かち合い、「寄り添う」ために来られたことを示しています。また、イエスはその後、エジプトへの避難生活を余儀なくされました。これは、移住者や難民に対する共感と理解を教える重要な教訓でもあります。「あなたたちは寄留者を愛しなさい。あなたたちもエジプトの国で寄留者であった。」（申命記10・19）ことにも起因します。

このように、聖書の言葉に教えられ生かされる体験は重要であります。例えば、「お言葉ですから、網を降ろしてみましょう」（ルカ5・5）の言葉は、わたしが司祭になるときに選んだ座右の銘です。人事異動を命ぜられたときに、迷わず、「はい！」と答えて従うためです。この座右の銘（み言葉）に私はこの50年近く生かされ救われ続けてきました。み言葉は生活の「知恵」でもあると悟ることも出来ました。

「神の言葉は生きており、力を発揮し、……心の思いや考えを見分けることができるからです。」（ヘブライ4・12）とある通りだと思います。

「不思議だね生きているのか御言葉は染みる心に縛るこの身を」と、短歌を口ずさむほどの影響力を感じたこともありました。どうぞ、良いご降誕祭と新年をお迎えください。



UBS 会議 カナダ 2024：世界の聖書協会の働きと支援の現状

日本聖書協会総主事 具志堅 聖



メインセッション

2024 年 10 月 7 日 (月) から 11 日 (金) にかけて、カナダトロント市にて「UBS Fellowship Event (カナダ 2024)」が開催されました。今回多くの方々がカナダ入国許可を得ることができませんでした、それでも約 200 名を越える聖書協会代表者・スタッフや聖書事業関連団体担当者などが集うことができました。ディボーション、講演、ワークショップ、小グループ集会、地域別・総主事ミーティングなどが行われました。

1. カナダ 2024 の目的

カナダ 2024 の目的は次の 3 つでした。

- ① UBS 世界大会 2023 のテーマに沿った協力的な取り組みの機運を高め、維持すること。
- ② International Support Program (ISP) 内外で戦略的・協力的なパートナーシップを強化すること。
- ③ 会議後、世界の聖書協会との貴重なつながりや関係を促進すること。

これらに焦点を当てて、さまざまな現状報告や意見交換・議論が交わされました。



アジアパシフィック地区の総主事会議

2. カナダ聖書協会 (CBS) の働き



カナダ聖書協会・ルペン総主事

今回の会議のホストは「カナダ聖書協会 (Canadian Bible Society/ 略称 CBS)」でした。多文化・多様性を重んじるカナダならではの取り組みが表現されました。CBS の総主事は、UBS Fellowship Council (世界理事会) の一人でもあるダス・ルペン (Das Rupen) 氏です。過去 20 年ほど CBS は多くの問題を抱えていて低迷していましたが、ルペン氏は就任後、大規模な構造改革を行い、聖書協会の再建に貢献しました。CBS をよりエキュメニ

カルな組織として、教会・教派・教団との関係を刷新し、聖書協会の事業を復活させました。会議のディボーションではカトリック教会の枢機卿、聖公会の主教、正教会の司祭、ペンテコステの賛美グループなどが登壇し、メッセージや賛美を導きました。それは CBS のエキュメニカルな働きの現状を印象づけるものでした。

また、会議の初日、先住民をルーツに持つジョナサン・マラクル氏 (Jonathan Maracle) による証とショートメッセージがありました。昨年 CBS を通して Mohawk 語訳の旧新約聖

書が出版されました。この聖書の完成までに約200年の月日が費やされたと言われています。実は北米では Mohawk 族の文化と言葉は禁じられた時代があり、そこには人種差別や迫害があって、それらが人々の心に深い傷を残したのです。彼はそこからイエス・キリストにある救いに導かれ、聖書翻訳に携わるようになりました。そして Mohawk 語訳の完成に至り、民族の誇りを取り戻したという彼の証は、会衆の心に感動を与えました。聖書翻訳の働きはそのような実りをも結ぶのです。



カナダ聖書協会オフィスでのプレゼンテーション

3.ISP（海外の聖書協会への支援）について

会議の期間中に ISP に関係する国々の代表者とミーティングを行いました。セルビア、レバノン、スロベニア、ルワンダ、ノルウェー、カナダ、ペルシャ湾岸諸国、エジプト、アゼルバイジャン、ブルキナファソ、カメルーン、コスタリカなどの代表者と支援の可能性を話し合いました。支援の規模やその内容についての説明を質疑しました。また、英国、ノルウェー、カナダ、ブラジル、アイスランドなどの代表とは宣教活動の傾向と対策についての意見交換などを行いました。日本と協力してプロジェクトを行いたいという声もありました。2025 年度の JBS の支援の方針など、今後協議することになります。



ルワンダ聖書協会・代表との会合の様子

4. 聖書協会運営の基礎的経済援助（Core Presence）の現状

これらに加えて、カナダ会議の後に聖書協会事業支援国（Resource Mobilization Group）の会議がありました。コロナ禍前後、世界中の聖書協会の事業が低迷しています。支援を受けて運営している聖書協会が経済的な試練を通っています。2021 年から 2024 年にかけての聖書協会運営の基礎的経済援助は、必要の半分以上の 40.61% しか満たされていません。援助を受けている 33 カ国の聖書協会では、プロジェクトの中止、人員削減、事業所の縮小などが行われているという状況です。JBS は長年、クロアチアやセルビアなどの東欧諸国にこの種の援助をしてきました。また、支援する国々もコロナ禍後、募金収入が減少したこともあり、その対策を行っている状況です。経済的に力をつけてきたいくつかの聖書協会に支援する側に加わるようにという勧めもされることでしょう。世界の聖書協会の仲間たちが、ささげ合い、支え合い、助け合うという精神がリニューアルされていくことが期待されています。



聖書協会事業支援国（Resource Mobilization Group）の会議の様子

5. 最後に

日本における聖書普及事業のための募金活動も、少子高齢化と共に、減少傾向にあります。長年支援してくださってきた方々、支援を続けてくださっている個人や教会の皆様にご心から感謝を申し上げます。それらは大きな力で確実に実を結んでいます。私たちはこれからも祈りつつ、新しい後援者を探し求めながら、「すべての人に聖書を」という共通のミッションを実現させていきたいと願っています。変わらないお祈りとご支援をお願い申し上げます。

2024年度海外聖書製作支援報告



セルビア

ジェンダーに基づく暴力や差別により社会的に脆弱な立場にある女性たちに、勇気と慰めを与えられるよう、デボーション用のみことばセクションを提供しました。



ラオス

夏号でご紹介いたしましたラオス聖書協会での識字率向上のためのプログラムは継続しています。クリスチャンは依然として順調に増えている中、辺境地の貧困少数民族のための聖書翻訳作業も行われており、更なる支援が必要です。

2024年度に行いました海外聖書製作支援先についての情報を、幾つか取り上げてご紹介いたします。さまざまな事情で言葉による癒しを必要とする方々に今後も聖書をお届けできますよう、皆さまの更なるご支援を継続してお願いいたします。



アルメニア

アルツァフのアルメニア人はアルツァフ共和国（未承認国家）解体後、長い間包囲されていましたが、強制的に生まれた場所を追われアルメニアに移住させられました。そのような境遇にある子どもたちに、勇気と希望を与えるために教会のスタッフたちが、祝福と共に絵本聖書を配布しました。



南太平洋諸国

経済的困難に見舞われている、独立後まもない国の多い南太平洋地域では識字率向上が大きな課題です。画像は南太平洋聖書協会が完成させたPijin語による聖書を用いて文字を学ぶソロモン諸島の人々です。



南太平洋聖書協会からの最新報告

10月15日、第4回となる南太平洋聖書フォーラム（第1回は2019年）がフィジーにて開催されました。南太平洋全域で聖書による宣教に携わる20以上の団体の約80名が17カ国から集い、3日間に渡り、聖書翻訳や普及のための情報交換をしました。そして互いの協力関係をより一層強化していくことを確認しました。

オセアニアの人口は約4,600万人が、大部分がオーストラリア、パプアニューギニア、ニュージーランドに居住しています。ヨーロッパ諸国の宣教師から伝道されたキリスト教ですが、現在では人口の55 - 60%がクリスチャンであると言われています。

この地域では2021年に聖書翻訳がなされていない言語は630言語でしたが、各地域の言語の聖書翻訳作業が懸命に行われており、現在ではその数が256言語に減少、全体としては素晴らしい成果です。

会合では若者に焦点を当てたデジタル化を通しての聖書普及、聖書翻訳へのAIの活用などについても報告され、話し合われました。そして、SIL(少数言語の識字率向上を支援するキリスト教団体)の山田裕紀氏から南太平洋地域における手話訳聖書翻訳関連の報告もなされました。開催期間を通し「全ての人々」にみ言葉を届ける活動に関わる人々が、知恵と忍耐を神から与えられるよう、祈りが捧げられました。



フィジーでのバイブルフォーラム



祈りを捧げる参加者



グループディスカッションを共有する南太平洋BS職員



洪水の後片付けの中、祈る現地の人々

スペインの洪水

10月29日、スペイン東部バレンシア州は記録的豪雨に見舞われ、洪水により220人以上が犠牲となりました。スペイン聖書協会は被災者支援のための募金活動を開始、援助物資とともに「困難にあっての希望」というみ言葉を収録した冊子を被災者に直接届ける計画です。このような世界各地で予測できない災害や戦禍において現地聖書協会を支援するためにも、皆様からの海外聖書製作支援献金が用いられます。祈り、ご支援ください。

教会訪問報告とお願い

コロナ禍によりしばらく中止しておりましたが、弊協会職員による教会訪問を、2023 年度より少しずつ再開いたしました。日頃より日本聖書協会をご支援くださる教会の礼拝やミサに参加し、報告の時間などに、お集まりの皆様へ直接、日本聖書協会の活動のご説明とご報告をし、後援会員として日本聖書協会を支えてくださる方を募集するものです。併せて、その時に導かれて捧げてくださるご献金を頂戴し、聖書普及の働きに用いさせていただきます。

2024 年度に訪問しました教会のお名前を挙げ、改めて御礼申し上げます。どちらの教会も、温かく迎えて下さり、訪問した職員が励まされました。この記事をお読みのあなたの教会にも是非、訪問させていただけますよう、お取り計らいください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2024 年度職員教会訪問実施教会（2023 年 11 月～2024 年 10 月）

訪問日	行き先	職員
2023 年 11 月 26 日	日本バプテスト連盟浦和キリスト教会	1 名
2023 年 12 月 10 日	ウェスレアンホーリネス教団淀橋教会	2 名
2024 年 6 月 9 日	日本基督教団成瀬が丘教会	2 名
2024 年 6 月 9 日	日本基督教団千葉本町教会	1 名
2024 年 6 月 16 日	日本聖公会聖パウロ教会	2 名
2024 年 7 月 21 日	日本基督教団翠ヶ丘教会	1 名
2024 年 7 月 21 日	日本基督教団鎌倉雪ノ下教会	2 名
2024 年 7 月 28 日	日本キリスト教会鶴見教会	1 名
2024 年 7 月 28 日	日本バプテスト連盟西川口キリスト教会	2 名
2024 年 9 月 8 日	日本基督教団小松川教会	2 名
2024 年 9 月 29 日	日本基督教団国分寺教会	2 名
2024 年 9 月 29 日	日本基督教団南三鷹教会	2 名
2024 年 9 月 29 日	日本基督教団勝田教会	2 名
2024 年 9 月 29 日	日本聖公会葛飾茨十字教会	2 名
2024 年 10 月 6 日	日本キリスト改革派千城台教会	1 名
2024 年 10 月 13 日	日本基督教団千葉南教会	1 名
2024 年 10 月 20 日	日本バプテスト連盟志村バプテスト教会	2 名
2024 年 10 月 27 日	日本基督教団西千葉教会	1 名

日本における聖書普及事業開始 150 周年感謝

ルーペット（拡大シートレンズ）プレゼント

1875 年、スコットランド聖書協会により日本での聖書普及事業が開始されてから来年で 150 年となります。聖書普及活動は、国内外の教会や団体、そして何と云いまでも、お祈りとご献金で支えてくださる後援会の皆様あって、継続することができております。2025 年には 150 周年を記念する行事が幾つか計画されますが、募金部では後援会員様への感謝のしるしとして、「ルーペット（拡大シートレンズ）」を贈呈いたします。なお、年会費 5,000 円以上を一度に納めていただいた場合とさせていただきます（2025 年の間、お一人 1 点まで）。



聖書と共に、お使いください。

この機会に年会費の増額をご検討くだされば幸いです。そして、所属する教会などにいらっしゃる身近な方々に聖書普及の働きについてお知らせし、後援会員として加わってくださることをお勧めいただけましたら感謝です。

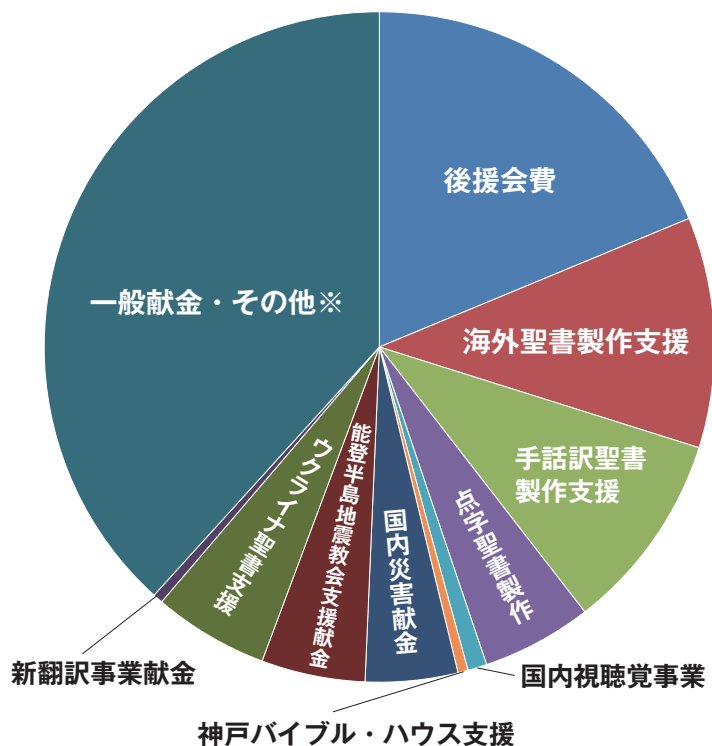
2024 年度 献金状況

献金累計額 26,683,045 円（うち後援会費 5,000,000 円）

（2023 年 11 月～2024 年 10 月末 累計）

現在の後援会員総数 2,441 名様

◎ 2024 年度 献金状況の内訳



後援会費	¥5,000,000
海外聖書製作支援	¥2,967,324
手話訳聖書製作支援	¥2,572,526
点字聖書製作	¥1,418,463
国内視聴覚事業	¥246,818
神戸バイブル・ハウス支援	¥130,456
国内災害献金	¥1,188,200
能登半島地震教会支援献金	¥1,336,414
ウクライナ聖書支援	¥1,484,202
新翻訳事業献金	¥128,000
一般献金・その他※	¥10,210,642

合計 ¥26,683,045

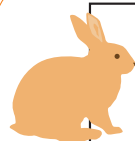
※いわゆる一般献金としてお受けした以外に、クリスマス、イースター、UBS DAY、ペンテコステ、聖書日・聖書週間献金他が含まれます。

日本聖書協会は2024年10月末をもって2024年度の決算を迎えました。
皆様から賜りましたご支援に心より感謝申し上げます。

◎ 2023 年 3 月から 11 月末までの新入会員のご紹介（ご入会順、敬称略）

今村 真樹 安東 陽子 赤川 紀代子 萩島 ゆみ子 樋口 典子 加藤 多恵子 田村 麟
中矢 聡 富田 桃香 坂上 修三 矢田 洋子 川鍋 貞淑 加藤 愛子 衣川 仁 阿部 基裕
立尾 啓二 和田 洋子 川口 道子 岸 英子 河崎 喜代 金 玉花 野村 晋一 岡村 友子
市川 友子 只木 悦子 稲川 達彦 稲川 延子 稲川 瑠花 仁平 久美子 佐々 涼子

以上の 30 名の皆様、ご入会ありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



**クレジットカードで
ご献金いただけます！**

日本聖書協会ホームページから、クレジットカード決済で後援会費の納入、献金ができます。

聖書 募金 クレジット 🔍



で検索下さい。

クリスマス特別プレゼントクイズ

問題

イエス・キリストの誕生は、旧約聖書に記された神の約束の成就のためでした。神はアブラハム以来、イスラエルの民と折ごとに契約を結び、彼らを祝福なさいました。神と人との契約で大切なものを挙げますので、空欄（A～E）を埋めてください。

出来事	契約の相手	象徴、キーワード	聖書箇所
洪水	ノア	A	創 9:8「ノア契約」
割礼と改名	B	カナン	創 17:1「アブラハム契約」
C	モーセ	十戒、律法	出 19:5、24:7「シナイ契約」
王国確立	D	王座	サム下 7 章「ダビデ契約」
捕囚	イスラエルの家	心	エレ 31:31-34「新しい契約」
イエスの生涯	全ての人	E	マコ 14:24「私の契約」、ヘブ 9:15「新しい契約」

ヒント

A: 漢字一文字の自然現象。
B: 人の名前、末尾はハムでもハ無しでも OK。
C: 英語で Exodus。
D: ミケランジェロの彫刻は有名。
E: 大抵の教会に掲げられています。

正解された方の中から抽選で、『アート聖書カレンダー 2025』を 10 名様にプレゼントいたします！

※応募方法

クイズの答え、お名前と会員番号、電話番号をご明記の上、募金部宛に F A X、Eメール、はがきでお申し込みください。（住所、F A X 番号等は下記をご覧ください。締め切りは 12 月 25 日（水）必着、正解者多数の場合は抽選の上、プレゼントの発送をもって発表に代えさせていただきます。（2025 年 1 月を予定）



アート聖書カレンダー 2025

募金部から

能登半島地震から 1 年が過ぎようとしております。9 月に輪島市に伺った際、崩壊したままの多くの家々や焼け野原となった一画が目に残りました。余震や豪雨もあり、半島では心身共に休まる事のないまま年の暮れを迎えようとしていらっしゃいますか…主の守りと慰めが豊かにありますよう、お祈り申し上げます。引き続き地震被災教会支援献金を募ります。

来年は日本における聖書普及事業開始 150 周年です。150 年の歳月には、日本での聖書普及のために、表舞台に出ない様々な人々の祈り、知恵、努力が重ねられたでしょう。

戦後間もない 1946 年から 5 年間、米国で献金者 3 万 8 千人余りを得て日本語聖書が製作され、計 700 万冊の聖書が、焼け野原となった日本に贈呈されました。やがて経済復興を遂げた日本が、今度は世界に聖書を届けましょうと呼びかけ続けました。しかし今なお、各地で紛争や戦火が絶えません。一見平和で豊かな日本でも、心に、荒廃や闇を抱える人々が大量にいます。神のことは「聖書」をお届けしましょう。「ぜひ福音を告げ知らせたいのです（ロマ 1:15）」

本年も、後援会の皆様のご支援をありがとうございました。長年お捧げ下さり、召天、退会された方々にも感謝いたしております。来たる年も、皆様に祝福がありますようお祈り申し上げます。さらに各地、各国の情報をお届けしてまいります。引き続き、聖書普及のため、お祈りとご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

JAPAN BIBLE SOCIETY
JBS 一般財団法人 日本聖書協会 募金部



〒104-0061 東京都中央区銀座 4-5-1 Tel: 03-3567-1980 Fax: 03-3567-4436

Eメール: fund-raising@bible.or.jp ホームページ: https://www.bible.or.jp/

◆郵便振替 00160-2-18410 ◆銀行振込 三井住友銀行 京橋支店(普通) 6552744

※ニュースレターへのお便り、お問い合わせも上記までお願いします。